

平成24年10月1日

保護者の皆様

仙台市立南中山小学校
校長 高橋 嘉弘

「重点目標 中間アンケート」結果について（お知らせ）

厳しかった残暑も終わりを告げ、爽涼の秋となりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、先日ご協力をお願いいたしました「協働型学校評価の重点目標についての中間アンケート」では、ご多用の中、ご回答いただきましてありがとうございました。

その結果について、集計をいたしましたので、その概要についてお知らせいたします。

結果をもとに考察を加え、学校と家庭における今後の改善活動を示しております。家庭や地域でのお声掛けや取組の参考にしてくださいませよう願いたします。

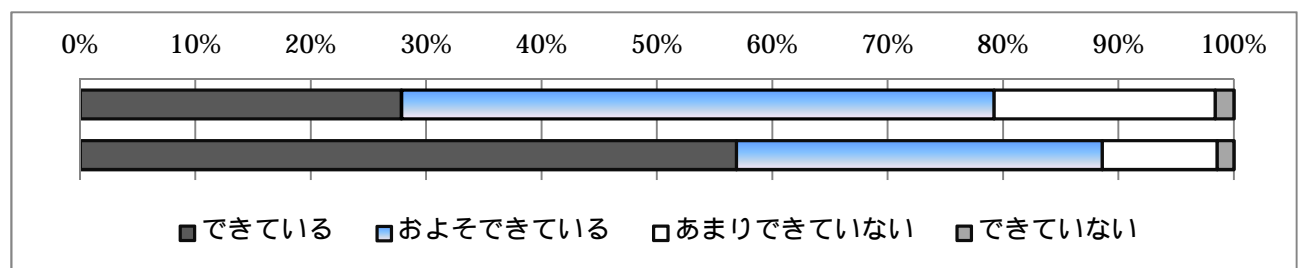
なお、本日の懇談会におきまして、保護者同士での情報交換や意見交換のための資料として、積極的にご活用くださいますよう重ねて願いたします。

1 自分の思いや考えをしっかり表現できる子ども

（１）アンケート結果

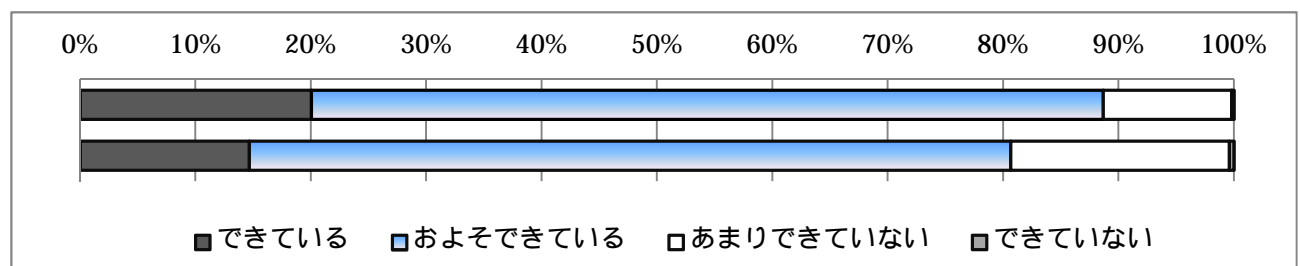
【児童】

質問項目	回答項目			
	できている	およそできている	あまりできていない	できていない
学校で、自分の思いや考えを進んで話していますか。	154	284	106	9
家で、自分の思いや考え、その日の出来事を話していますか。	314	175	55	8



【保護者】

質問項目	回答項目			
	できている	およそできている	あまりできていない	できていない
お子さんの話を最後までしっかり聞くよう心掛けていますか。	99	339	55	1
学校の子供たちは、進んで自分の思いや考え、出来事などを話していると思いますか。	72	324	93	2



(2) 考察

「家で、自分の思いや考え、その日の出来事を話していますか。」という質問項目では、肯定意見（できている、およそできている）が、およそ90%となっております。「お子さんの話を最後までしっかり聞くよう心掛けている。」と肯定的な回答しているご家庭もおよそ90%となっております。家庭での親の姿勢が、子どもの話す意欲を高めたり、話しやすい雰囲気を作成したりしていると考えられます。

しかし、「学校の子供たちは、進んで自分の思いや考え、出来事などを話していると思いますか。」という質問項目では、肯定意見がおよそ80パーセントとなっているものの、そのうち「できている」の回答は約15%となっており、児童の回答（「できている」）と大きな差が見られました。自由記述の中に、「都合の悪いことは話さない。」「聞かないと話さない。」という意見が見られました。「子どもが話したい時、話したいこと」と「親が聞きたい時、聞きたいこと」に、少し差があるものと思われます。なお、子どもが話をしやすい状況作りにお取り組みいただきますようお願いいたします。

(3) 今後の改善活動

【学校で】

学校生活や学習活動の中で子供たちが発言する機会を多く設けていきます。内容を整理したり、順序立てたりするなどして、思いや考え、事実が分かりやすく相手に伝わるよう発達段階に応じた指導を続けていきます。また、しっかりと耳を傾ける、共感して聞く、考えて聞くなど聞く態度を養い、話しやすい雰囲気作りを進めてまいります。

【家庭で】

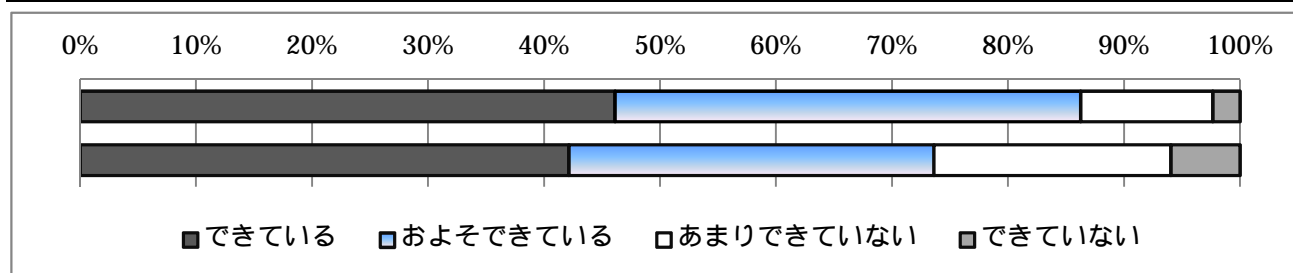
「食事の時はテレビをつけず、学校の話聞くようにしている。」「寝る前に静かな部屋で話を聞くようにしている。」「二人きりの時間を作るようにしている。」「自分の失敗談や子どもの頃のエピソードを話してあげるようにしている。」「一言日記を書かせている。」など数多くの効果的な取組を紹介していただきました。今後も、お子さんが話すことができる環境（時間、場所等）を工夫し、話にじっくりと耳を傾けてくださいますようお願いいたします。

2 健康な体作りに関心を持って楽しく運動する子ども

(1) アンケート結果

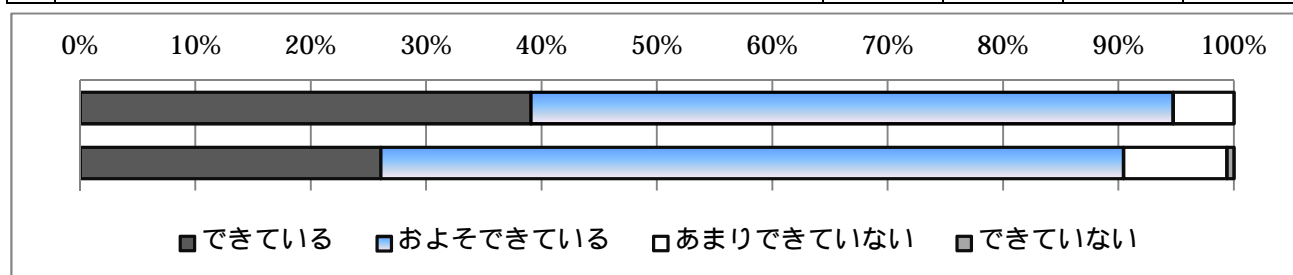
【児童】

質問項目	回答項目			
	できている	およそできている	あまりできていない	できていない
自分の健康のために、取り組んでいることがありますか。	255	222	63	13
計画的に運動に取り組んでいますか。	233	174	113	33



【保護者】

質問項目	回答項目			
	できている	およそできている	あまりできていない	できていない
お子さんが健康的な生活ができるように声掛けをしていますか。	193	275	26	0
学校の子供たちは、進んで運動に取り組んだり、健康な生活を心掛けたりしていると思いますか。	128	316	44	3



(2) 考察

「早寝早起き朝ごはんを心掛けている。」「テレビを長時間観させないようにしている。」「毎朝、親子で散歩している。」など、継続的かつ効果的な取組をしているご家庭がたくさんあります。アンケート結果を見ても、児童、保護者ともに肯定的回答（できている、およそできている）が多く、健康的な生活への関心が高く、取組や声掛けがしっかりと行われていることが分かります。

「計画的に運動に取り組んでいますか。」に対する肯定的な回答が70%程度と、他の項目に比べると若干少なくなりました。遊びなどを通して運動には取り組んではいるものの、体作りや健康についてはあまり意識していないというのが実態であると考えます。

「ゲームで遊ぶことが多い。」「夜更かしすることが多くなった。」「子供たちの遊び場所が少ない。」などといった記述も目立ちました。学校と家庭とで、生活の工夫・改善など適切な声掛けを継続していく必要があります。

(3) 今後の改善活動

【学校で】

自分自身の体や健康についてより関心を持てるよう保健指導や給食指導を充実させていきます。

また、子供たちが日常的に運動に取り組めるよう環境を整備していきます。（なわ跳び台、一輪車、竹馬、逆上がり補助器など）学習カードを活用し、鉄棒、うんてい、なわ跳びなどの運動に子供たちが意欲をもって取り組めるように工夫します。

【家庭で】

「早寝早起き朝ごはん」の継続、日常的な運動や外遊びの奨励など、今後も引き続きご協力をお願いいたします。

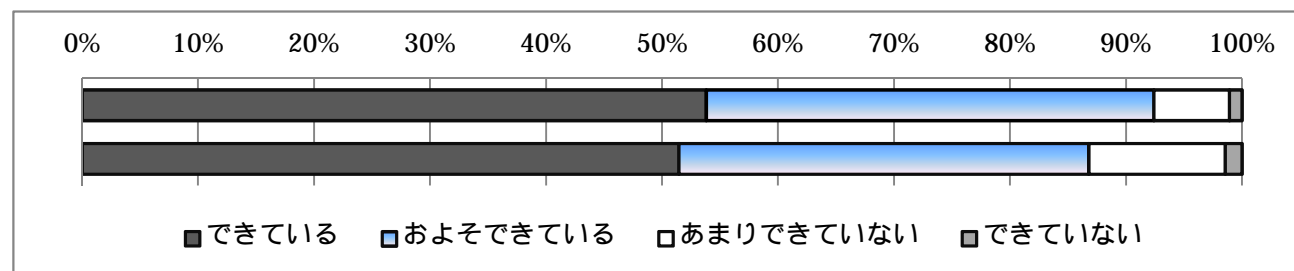
「テレビゲームやカードゲームは買い与えていない。」「ゲームがなくても工夫して遊んでいる。」「親子一緒だと喜んで運動に取り組む。」といった家庭での実例も紹介していただきました。「ゲームする時間やテレビを観る時間を決める。」「曜日には家族で散歩をする。」等、家庭でのルール作りを行いながら、生活や健康への関心を高めていていただきたいと考えております。

3 自分から進んで明るいあいさつができる子ども

(1) アンケート結果

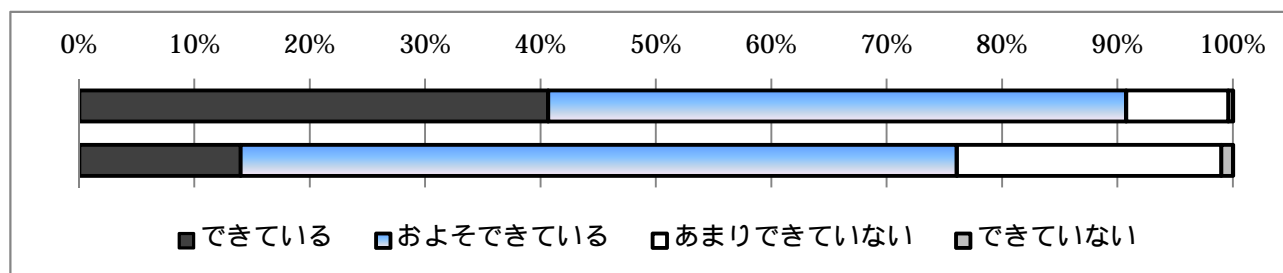
【児童】

質問項目	回答項目			
	できている	およそできている	あまりできていない	できていない
先生や友達、家族と進んであいさつをしていますか。	297	213	36	6
学校や家以外の場所で、進んであいさつをしていますか。	284	195	65	8



【保護者】

質問項目	回答項目			
	できている	およそできている	あまりできていない	できていない
お子さんが家庭以外でも進んであいさつをするよう声掛けをしていますか。	202	249	44	2
学校の子供たちは、進んであいさつをしていると思いますか。	69	306	113	5



(2) 考察

「先生や友達、家族と進んであいさつをしていますか。」という児童への質問項目では、90%以上の子供たちが肯定的な回答（できている、およそできている）をしています。ご家庭での声掛けと学校での指導の成果です。また、「親があいさつの模範を示すようにしている。」という記述が多く見られました。このような取組も子供たちにより影響を与えていると考えます。

しかし、学校や家以外の場所でのあいさつとなると、肯定的な回答（できている、およそできている）が若干なくなっております。学校や家庭以外の場所でのあいさつは個人差があるようです。

「学校の子供たちは、進んであいさつをしていると思いますか。」という保護者への質問項目では、肯定的な回答（できている、およそできている）は70%程度となりました。子供たちの意識と保護者の意識にやや隔たりがあるようです。「こちらから声を掛ければあいさつはするが、自分から進んでという感じではない。」「あいさつが返ってこない子が多い。」といった厳しい声も寄せられました。

また、「防犯上、知らない人にはあいさつをしないように言い聞かせている。」といった声もありました。そのような考えがあるとともに、たくさんの地域の人々とのかわりをもつことが、多くの目で子供たちを見守ることにつながるという考えもあります。

学校や家庭だけでなく地域にもあいさつの輪が広がるよう学校での指導を継続するとともに、今後さらに地域の方々にもお願いしてまいります。

「あいさつをしてもあいさつを返してくれない大人がいて、子どもが悲しそうにしている時がある。」「近所の方にあいさつをほめてもらったことで、一段とあいさつをがんばるようになった。」という対照的な二つの声もありました。大人の対応が、よい意味でも悪い意味でも子どもに大きな影響を与えることになります。我々大人が模範を示していくこともとても大切です。

(3) 今後の改善活動

【学校で】

あいさつの必要性、気持ちのよいあいさつの仕方など、学年の発達段階に応じた指導を、今後も継続していきます。あいさつのよさが実感できるよう児童会活動等であいさつ運動を実施したり、よいあいさつをしている子どもたちをその場でほめたり、取り上げて紹介したりします。

地域の方々へは、子供たちへの声掛けや登下校の見守りなどの協力を呼び掛けていきます。また、学校だけでなく、地域と家庭とが連携したあいさつ運動を実施したいと考えております。

【家庭で】

引き続き、進んであいさつをするようお声掛けをお願いいたします。地域での子供たちへのお声掛けや登下校の見守りなどにもぜひご協力ください。

また、子ども会活動や地域活動、市民センター事業等への積極的な参加についてもお声掛けくださいますようお願いいたします。

朝のあいさつだけでなく、返事や感謝、お詫び等もコミュニケーションを高める大切なあいさつです。

自然に出るようご家庭でも、積極的に使用してみてください。